

研究分野のキーワード：生活経営学，家庭経済学，生活経済学，高齢期・高齢者

### 研究紹介

高校生のみなさんは「家庭科や家政学の分野は？」と質問されたとき、最初に食物学や被服学を連想される方が多いのではないのでしょうか。もちろんこれらは大変重要な家庭科や家政学の分野です。住居学や保育学、家族関係学などほかにも家庭科や家政学にはとても重要な研究分野がたくさんあります。私たちの生活は多面的で、それらが有機的につながっています。それゆえ生活全体を研究対象とする家政学は多様な分野をもち、それらの分野が相互に関連しながら1つの学問として成り立っているのです。

家政学の中の生活経営学が私の研究分野です。生活経営学は、家政学の主に社会科学的側面を担って研究活動を進めています。人間生活を家庭と社会の関わりで扱う魅力的な分野です。<sup>1)</sup> 私は社会科学的側面のうち主に経済学的な側面について研究しています。これは家庭経済学、生活経済学と呼ばれています。近年では特に高齢者や高齢期の生活に関心を持っています。わが国では平均余命の伸びとともに、いわゆる高齢期は非常に長くなりました。また2012年現在における総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は24.1%と高く、今後もさらに上昇が続けると予想されています。このように生活者一人ひとりにとっても、社会全体にとっても高齢期や高齢者の生活は非常に重要な課題です。高齢期や高齢者といってもひとくくりにできるものではありません。現役期や現役世代以上に様々な属性や背景をもっています。そのことに留意しながら、多面的に実証分析をおこなっています。

生活全体における様々な問題の実態を把握し、その解決策を考えていくことが家政学の魅力です。皆さんも愛知教育大学で、一緒に家庭科や家政学について学んでみませんか。

### 引用資料

1) 日本家政学会生活経営学部会ホームページ

(<http://www.jshe-frm.jp/japanese/bukai/bukai.htm>)